

とをご協力いただきました関係各位に深く感謝を申し上げ開催報告とさせていただきます。

### 第16回高知県支部学術集会

学術集会会長：土佐市立土佐市民病院院長 田中 肇

2018年8月19日(日)、高知市春野文化ホール ピアステージにて、第16回高知県支部学術集会を開催いたしました。

今回の学術集会では、テーマ『より良いチーム医療をめざして』を掲げ、『チームで支える！超高齢化社会における糖尿病ケア』と題した講演を主とし、医療安全、医療の質、地域連携、クリティカルパス、診療支援、教育、看護、患者サービス、災害医療、病院運営・組織マネジメントなどのセッションについて84題の演題が発表されました。シンポジウムやランチョンセミナーを開催し、参加者数360名、様々な職種のメディカルスタッフが参加し、活発な意見交換・交流が行われ、高知県の医療に貢献し、今後の医療の質の向上に十分な貢献ができたものと考えます。

### 第15回鳥取支部学術集会

学術集会会長：鳥取赤十字病院病院長 西土井 英昭

2018年9月1日(土)、とりぎん文化会館(小ホール、第2会議室)で第15回鳥取支部学術集会を開催しました。



会場風景

今回は、「未来につなぐチーム医療～医療と介護と暮らしの連携～」をテーマに掲げ、201名の参加がありました。

当日は、兵庫県立大学大学院経営研究科教授筒井孝子先生より「地域包括ケアシステムに求められる「臨床的統合」とは」と題して、特別講演をしていただいたほか、日本赤十字豊田看護大学教授 下間正隆先生より、「誰のために感染対策をするか?! @鳥取」と題してランチョンセミナーのご講演をいただきました。

また、一般演題として、40演題(口演8演題、ポスター発表32演題)が学術集会に寄せられ、活発な意見交換がなされました。

最後は、学術集会のテーマについて、パネルディスカッションが行われ、6名のパネリストの発表のあと、活発な総合討論がなされ、同テーマの関心の高さをうかがわせる学術集会となりました。

### 第14回広島支部学術集会

学術集会会長：中国電力(株)中電病院顧問 岩森 洋

2018年9月15日(土)、広島県医師会館にて第14回広島支部学術集会を開催し、132名の参加をいただきました。

今回はテーマを「チーム医療」とし、4病院から感染対策や認知症対策への取り組み内容の発表をいただき、その後、会場を交えたパネルディスカッションを行いました。参加いただいた多くの方から「他病院における色々な活動を聴かせて頂くことができ、大変参考となりました」とのご意見をいただきました。

また、基調講演では、広島大学病院感染科教授大毛宏喜先生に「抗菌薬適正使用支援チームへの期待と課題」についてご講演をいただき、特に「活動はチームだけではなく院内全体の取り組みを必要とし、専従職員の育成・支援が求められている」と力強いお言葉をいただき、その必要性を充分感じさせていただいた内容でした。

### 第16回東北連合会・第17回青森県支部学術集会

学術集会会長：八戸市立市民病院院長 今 明秀

2018年9月22日(土)に八戸市公民館および公会堂にて、第16回東北連合会および第17回青森県支部学術集会を同時開催いたしました。「尊厳ある暮らしを支える～ニーズに応える医療の新たな質の創造～」をテーマに、特別講演では、東北大学病院医療安全推進室室長の藤盛啓成先生と埼玉医科大学国際医療センター院長 小山 勇先生の2名の先生にご講演いただきました。また、シンポジウムでは「あなたらしく生きることを支えるために」と題して、当地域で活躍される在宅医療医師、回復期医療社会福祉士、急性期看護師、行政保健師の4名のシンポジストにそれぞれの立場でご講演いただき、ディスカッションを行いました。その他にも、一般演題36題、ランチョンセミナーの発表も行われ、300名を超える方々にご参加いただきました。

多くの方のご協力により、無事開催できましたことに感謝いたします。誠にありがとうございました。

### 第17回島根支部学術集会

学術集会会長：益田赤十字病院院長 木谷光博

2018年9月29日(土)に、島根芸術文化センターグラントワにて第17回島根支部学術集会を開催いたしました。今回は、「地域で切り拓く明日の医療～人と人との繋がりを目指して～」をテーマとし、255名のご参加をいただきました。特別講演では、厚生労働省の地域医療計画課で地域医療構想策定支援業務等に従事され